



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市立図書館報

2012年3月15日発行



平成24年4月1日から
休館日と利用時間が変わります

平成24年4月1日から、さいたま市図書館の休館日と利用時間が、下の表のように変わります。

Point
変更のポイント

★休館日が月曜日と火曜日に分かれま

す これまではすべての図書館が月曜休館でしたが、月曜休館と、火曜休館に分かれます。「図書館に行ける日は月曜日だけなのに…」という方にもご利用いただけるようになります。

★祝日閉館の際の振替休館日が水曜日になります

休館日が祝日にあたった際には、これまでは翌日の火曜日を振り替えて休館としていましたが、同じ週の水曜日が休館となります。これによって、市内の図書館が全館休館という日を大幅に減らすことができます。

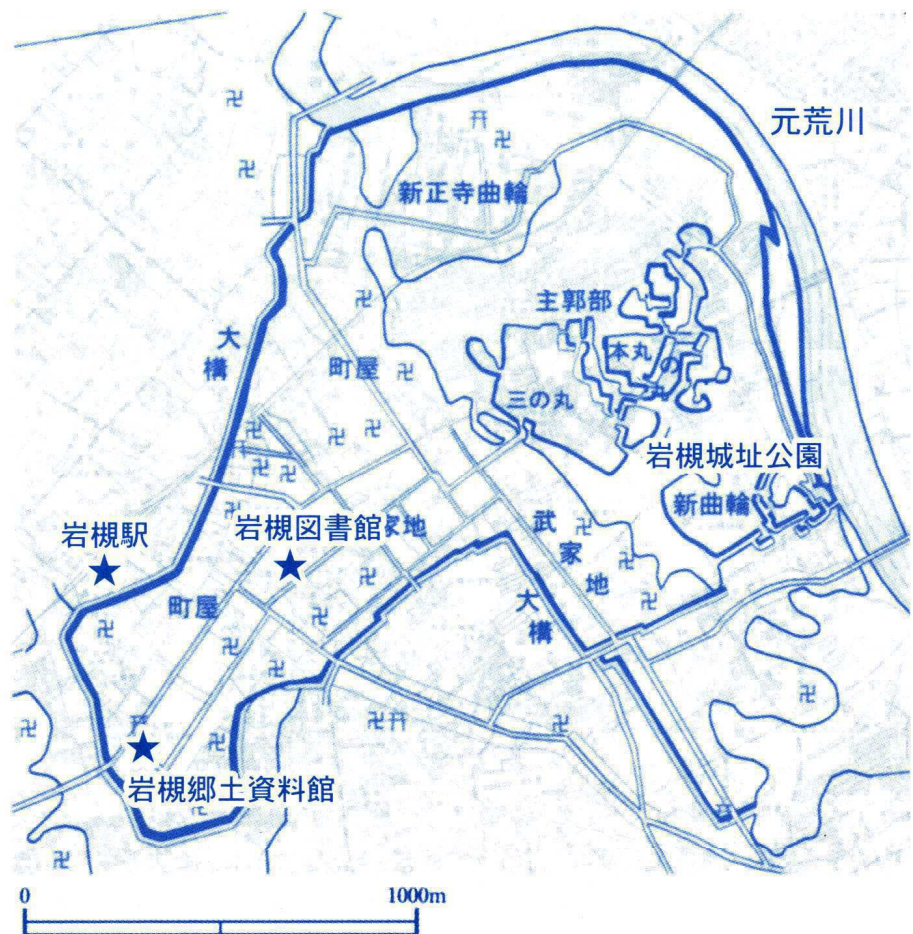
★一部の図書館で平日の閉館時間が変わります

夜間のご利用が少ない11の図書館で、平日の閉館時間が午後6時に変更になります。どうぞ4月からも図書館をご利用ください。

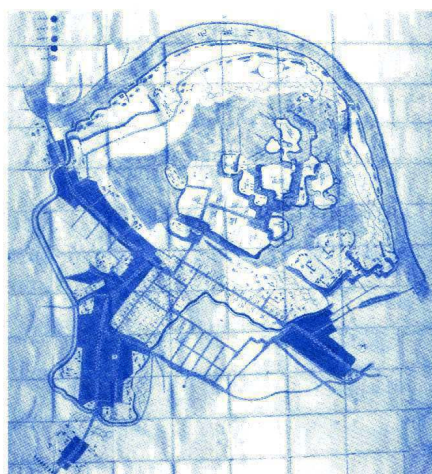
	変更前	変更後
中央	<p>休館日 第1・第3月曜日 ただし、第1・第3月曜日が祝日のときは開館し、翌日(火曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後9時 土日祝：午前9時～午後6時</p>	<p>休館日 第1・第3月曜日 ただし、第1・第3月曜日が祝日のときは開館し、翌々日(水曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後9時 土日祝：午前9時～午後6時</p>
北浦和 南浦和 東浦和 大宮 大宮西部 春野 与野 桜木 岩槻駅東口 桜北	<p>休館日 月曜日 ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日(火曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後8時 土日祝：午前9時～午後6時</p>	<p>休館日 月曜日 ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌々日(水曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後8時 土日祝：午前9時～午後6時</p>
大宮東 七里 宮原 馬宮 岩槻 岩槻東部 片柳 与野南 三橋分館 西分館 大久保東分館	<p>休館日 月曜日 ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日(火曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後7時 土日祝：午前9時～午後5時</p>	<p>休館日 火曜日 ただし、火曜日が祝日のときは開館し、翌日(水曜日)休館</p> <p>利用時間 平日：午前9時～午後6時 土日祝：午前9時～午後5時</p>

平成24年3月31日までは今までとありの休館日・利用時間だよ。

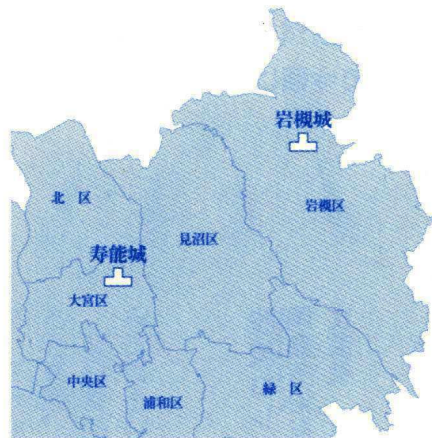
これからも図書館をご利用してね!



1：近世岩槻城の概要。現在の地図と重ねてみると、かつては大きな城だったことがわかります。元荒川の水を引き込んで造られた堀は、現在では埋め立てられ、宅地になっています。



2：岩槻城并侍屋敷城下町迄惣絵図（江戸時代）さいたま市立博物館（岩槻郷土資料館）所蔵



3：岩槻城と寿能城の位置。

わがまち はっけん Sai 発

さいたまの城をゆく



岩槻城(岩付城)

岩槻城は15世紀後半（室町時代後期）に築かれました。築いたのは太田道灌とされていますが、近年は忍城（行田市）の城主だった成田氏が築いたという説が有力になっています。当時の岩槻には鎌倉から東北地方へ向かう街道が通っており、軍事的に重要な拠点でした。その後、関東地方を支配した後北条氏によって支配されますが、天正18年（1590）に豊臣秀吉が関東地方に攻め込んだ際に抵抗おなしく落城しました。江戸時代になってからは、岩槻藩の中心地となりました。岩槻城の本丸は江戸幕府の将軍が日光東照宮に参詣したときの宿舎にもなっていました。

戦国時代、関東地方は数多くの武将たちが割拠していました。さいたま市周辺も例外ではなく、戦乱の絶えない場所でした。当時から交通の要衝だったため、武将たちが敵から守るために構える城や館も多く、さいたま市内で確認されているだけでも29カ所もあつたそうです。戦国時代から400年以上経った現在、わずかに当時の防衛用の土塁などを示す場所があります。

ここでは、岩槻城と寿能城を中心とその跡をたどっていきます。

岩槻城は元荒川を天然の堀としていて、小高い台地の上に築かれました。現在ではそのおもかげを探ることは難しいですが、本丸跡地付近が平成になってからの地番変更により、「本丸」という地名になっています。本丸跡地の碑が現在ガソリンスタンドの片隅にあり、岩槻消防署太田出張所には、この付近が三の丸跡地であることを示す標柱が建てられています。



岩槻城址公園にある堀の跡

現在の岩槻城址公園のあたりは「新曲輪」と呼ばれていました。これは、豊臣秀吉軍の城攻めに備えて

寿能城

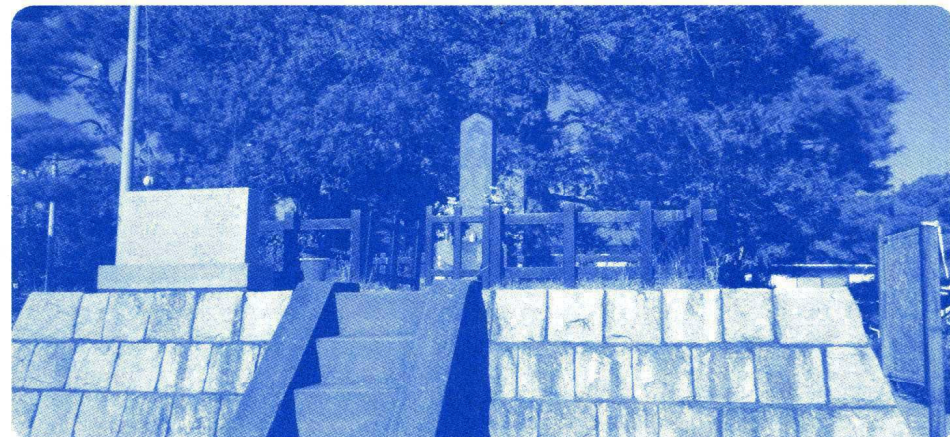
その岩槻城に属していて戦略の拠点になっていたのが寿能城です。寿能城は、永禄3年（1560）頃に岩槻城主の太田資正の四男である潮田資忠により築かれました。当時存在した「見沼」に付き出た台地の上にあり、「寿能の浮城」と呼ばれていたそうです。岩槻城と同様に、豊臣秀吉が関東に攻め込んだ際に落城しました。さいたま市営大宮球場の付近にある「寿能公園」が、その跡地と伝えられています。現在の大宮北中学校の付近までが寿能城の敷地になっていたそうです。

また、寿能城落城の際に見沼に身を投げた姫が、見沼の竜神によって蛭の姿に身を変えられたという伝説も残っています。

その他の城

岩槻城と寿能城のほかにも城や館の跡はありますが、発掘調査後に宅地開発されるなどの理由で、当時のおもかげをとどめているところはわずかです。その時代の城や館は、自然地形を利用して築かれていたもので、多くは小高い台地の上に残されています。見沼区御蔵にある「松野氏館」は、跡地付近が公園になっており、周辺住民の憩いの場となっています。

このように、さいたま市には数々の城や館の跡があります。数少ない跡地に立ってみると、自らの領地を守るため懸命になって働いた、戦国時代の武将たちの活躍を感じ取ることができます。皆さんもぜひ武将たちの息吹を感じ取ってみてください。



寿能公園にある潮田資忠の墓碑

【参考文献】

- 「戦国時代のさいたま―城と館からさぐる―」（さいたま市立博物館 2005）
- 「寿能城と戦国時代の大宮」（大宮市立博物館編 大宮市 1990）
- 「埼玉の古城址」（中田正光著 有峰書店新社 2001）
- 「埼玉の館城跡」（埼玉県教育委員会編 国書刊行会 1987）
- 「日本城郭大系 5 埼玉・東京」（新人物往來社 1979）
- 「埼玉の中世城館跡」（埼玉県立歴史資料館編 埼玉県教育委員会 1988）
- 「岩槻城と城下町」（さいたま市立博物館 2005）

変身!!

春は、別れがあり出会いがあり、
木々は芽吹き花が咲き、動物たちが動き出し、
環境や自然の変化が感じられる季節です。
そこで今回は、「変身」をテーマに本を集めてみました。



変身のロマン
滋澤龍彦編 立風書房 1990

古来より、人が動物や植物に姿を変える変身譚は数多く存在します。たとえば、危険や禁忌に不用意に近づき望まずして変身させられてしまうもの、身の危険から逃れるために望んで姿を変えるもの、読み手が納得するかなどお構いなしに突然姿が変わってしまうもの等、いくつものパターンがあります。幼い頃に読んだ昔話など、思い当たる方も多いのではないのでしょうか。

本書は、幻想小説アンソロジー『暗黒のメルヘン』(立風書房 1990)の続編のような作品集で、編者による論考「メタモルフォーシス考」と花田清輝によるエッセー「変形譚」の2編で挟み込むように、編者の選んだ13編の作品(長編は抄録)を紹介しています。恐怖に襲われると周囲の物に溶け込むことができる男の話、動物を糧にする蘭科植物をそれと知らずに手に入れてしまった男の話、詩家として名を成そうとするも大成せず、発狂して虎になった男の話、その他、オウイデウス「美少年ナルキッス」とエゴン、アンデルセン「野の白鳥」、泉鏡花「高野聖」、太宰治「魚服記」など、物語は古今東西、多岐に渡っています。
非日常的な現象を扱った作品の数々をお楽しみください。

脱皮コレクション
岡島秀治監修 新開孝、関慎太郎写真 日本文芸社 2011

皆さんは、生きものが脱皮する瞬間を見たこと

とがありますか? 私たちの身近にいる生きものの多くが脱皮をしています。蝶や蝉の羽化などはよく知られていますが、その場面に立ち会うことは、そうあるものではありません。

本書は、まさにその瞬間ばかりを集めた写真集です。数多くの写真には解説がそえられ、生きものが脱皮をする理由や観察の仕方なども紹介されています。

古い皮膚から顔を出すヘビの愛らしい表情。細く長い足を苦勞して引き抜くコガネグモ。4段階の脱皮を経て劇的に姿を変えるアゲハ。昆虫メラマン・新開孝と爬虫類、両生類担当の自然写真家・関慎太郎による貴重な写真の数々は、時に美しく、時にユニークです。個々の生きものの生態についても、全て脱皮という視点から語られているめずらしい一冊です。人目に触れることのない神秘的な瞬間をあなたもぜひごぞいてみませんか?

キルトをはいた外交官
大塚清一郎著 ランダムハウス講談社 2008

ある時はメキシカン・バンドで演奏し、ある時はキルトをはいてニューヨークの五番街でバグパイプの吹奏行進し、またある時はスウェーデンの国王やスリランカの大統領の前でその国の愛唱歌を原語で歌う。そんな著者は、色々なものに変身する型破りな外交官です。

無表情、働きバチ、退屈な集団、という外国から見た日本人のイメージを覆すような、ユーモア溢れる外交官である著者は、外国語が飛び交う国際会議の議長も、ニューヨークやロンドンで雲間を和らげて、そつなくこなしてきました。たとえば、「笑わぬ首相」で有名なプレミアム元首

相を晩餐会に招いた時には、「アライウィーイ」(タイ式なぞなぞ)や「タローク」(タイのジョーク)で攻めて、最後には上機嫌でお帰りいただくことに成功しました。
「外交とは、いざという時に頼りになる信頼できる人と人とのつながりを作ることである」をモットーとし、スコットランド、タイ、アメリカ、スリランカ、スウェーデン等、様々な国で外交官を勤めた著書の自伝的エッセイです。

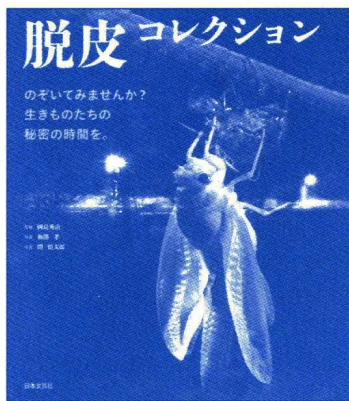
コスプレする社会
サブカルチャーの身体文化
成実弘至編 せりか書房 2009

「コスプレ」という言葉は私たちの生活の中に急速に広まりつつありますが、その実態となると興味がない人にはまだ知られていないのが現状かもしれません。

本書では、社会からはみ出しがちで、あまり語られてこなかった独自の身体文化「コスプレ」、女装、タトゥー、改造制服、ストリートスタイルなどについて各執筆者が考察していきます。個々の事象をなるべく現場に近いところから見ていくことにこだわっている本書は、インタビューやフィールドワーク、当事者である執筆者の見解など、生の声が多く盛り込まれています。

女装者は性同一性障害や性転換手術についてどう考えているか、コスプレ会場やタトゥーコンベンション(タトゥー愛好者の集まり)の内側ではどんなことが行われているのかなど、外側からは知りえないディープな世界の内側を垣間見せてくれます。人々は装うことで、何を求め、感じているのか。そこでは自己をめぐる

重い問いかけがなされているのではないかと編者は考えます。
9章からなり、各章の内容は独立しているもので、興味を持った章からページをめくって、未知の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



子どもたちが大好きな「変身ヒーロー」。その第1号は?

4 テレビで子どもたちを魅了する「変身ヒーロー」たち。月光仮面やスーパーマン、ウルトラマンなど、洋の東西を問わず「変身して悪を懲らしめる」タイプのヒーローは古くから存在していましたが、「変身」そのものを重視したという点では、起源は「仮面ライダー」、それもライダー2号こと「文字単人」にあるようです。「変身フォームを巻き起こし、子供達だけではなく世間一般にまで仮面ライダーというキャラクターを印象つけたのは、佐々木の演じた一文字単人のポーズであり、「元祖・変身」というのがふさわしい。「僕らのスーパーヒーロー伝説」堤哲也編 扶桑社 2002

さて、変身シーンはこの後さまさまなヒーローに受け継がれていきます。そこに共通するのは「変身はそれ自体が一つの独立した魅力ある出来事として扱われている」という点であり、「さらにいえば、変身したからどうなるというよりも、変身することそれ自体がカッコイイのであり、それが快感を与える見せ場になっているのである」として、ヒーローの変身シーンに「純粋なヘンシン願望」を見る意見もあります。「変身願望」宮原浩二郎著 筑摩書房 1999

子どもだけでなく大人も変身ヒーロー・ヒロインに惹かれる理由は、こうした変身願望にあるのかもしれない。

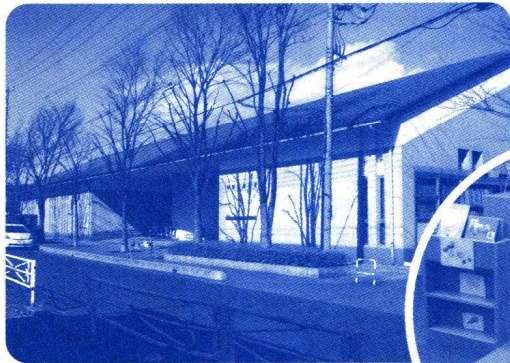


岩槻東部図書館

岩槻東部図書館は、併設の「ふれあいプラザいわつき」とともに1998年に開館しました。少し歩けば春日部市という、さいたま市で最も東にある図書館です。市内でも有数の古刹・慈恩寺と同じく、東岩槻駅が最寄りで、歴史を感じさせる土地柄です。

コンパクトではありますが、スペースの2分の1が小説や実用書などの一般書コーナー、もう4分の1ずつが児童書コーナー、新聞・雑誌・視聴覚コーナーになっていて、一通りの用途に対応できる図書館です。

絵本コーナーは、親子でゆっくりくつろいで本を選んでいただけるように、じゅうたん敷きになっています。また、新聞・雑誌コーナーは、閲覧席は15席と多くはありませんが、一つひとつの椅子の間が広くとられており、ゆったりとお読みいただけます。南側に窓を大きくとってあるため、館内は明るくあたたか。外に目をおければ、公園で遊ぶ子どもたちの姿や、春には満開の桜が見られたりと、のどかな環境の中でご利用いただけます。



黒瓦の屋根に白い壁が目印



児童書コーナー

城下町・岩槻のイメージを生かし、建物は白い壁に瓦葺の屋根で、昔の蔵のような情緒を感じさせる外観です。歴史小説や時代小説の人気が高く、入口そばの展示コーナーでは、よく歴史をテーマにした本の特集をしています。ひと月ごとにテーマを変えて本を集めたこのコーナーでは、入口そばということもあってか、大人だけでなく、興味深げに本を眺めているお子さんの姿も見受けられます。

そんなアットホームな雰囲気にも包まれた岩槻東部図書館に、どうぞ足を運びください。

「存知ですか？」

現代短歌新人賞

現代短歌新人賞は、さいたま市が主催する賞で、市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興を目的に、平成12（2000）年に設けられました。原則として第一歌集が対象となる賞で、新進歌人の発掘を目指しています。選考委員は、中村稔（選考委員長）、馬場あき子、篠弘小池光、栗本京子の各氏という、そうそうたるメンバーです。

12回目となる今回の受賞作は、柳澤美晴さんの『一匙の海』（本阿弥書店 2011）に決まりました。「この歌集には硬質な抒情性、現代の生の不安、父親に対する屈折した感情、恋人に対する瑞々しい清潔な情感などが認められ、作者の今後の成熟を期待せるに十分な才能と評価し、贈賞にふさわしい」（選考委員講評）「傷ついた地点に留まらず、その先の希望を掴み取るような歌を、この思いで歌集を編みました。不安の多い世の中だからこそ言葉の力を信じて誠実に詠みたいと思います」（柳澤さん受賞のコメント）

作品や選考過程については、雑誌「ミセス」3月号（文化出版局）に記事が掲載されています。図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> （下のQRコードを読み込んでください）

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	大七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 今回の「Sai発見」コーナーでは市内の城跡を取材しました。開発されて城の様子を偲ぶよすがのまったくないところもあり、12月の寒風の中で、時の流れを感じました。

次回発行：2012年7月30日（年3回発行）

